

**案件1 委員長・副委員長の選出**

・設置要綱第5条の規定に基づき、委員長1名・副委員長2名の選出が必要。委員の互選により委員長に永田委員、副委員長に上嶋委員、井上委員が承認。

**案件2 第4次健康都市いずみ21・食育推進計画について**

・第4次健康都市いずみ21・食育推進計画は、新たな健康課題や社会情勢の変化に対応するため、健康都市いずみ21計画と食育推進計画を統合し策定。計画期間は、2025年度から2036年度までの12年間とし、社会環境や経済情勢などの変化に対応するため、2030年度に中間評価を実施する。  
 ・基本方針1「生活習慣病の予防」、基本方針2「食育の推進」、基本方針3「健康づくりと食育を支える地域力の向上」、基本方針4「女性特有の健康課題解決」とし、4つの基本方針を柱に取り組みを進めていく。

**案件3 第4次計画における各機関等の取組予定について**

・令和7年度における行政の主な取組み予定について報告。  
 ・令和7年度食育合同事業の主な取組み予定について報告。  
 ・令和7年度参画団体及び市民委員より主な取組み予定について報告(下表参照)。  
 ・和泉市民健康まつりについて報告

各機関からの発言・意見の主な要約

	発言・意見	その後の対応	
1	医師会 (事務局より代理報告)	・健康まつりを通じ、「健康チェック」の重要性を発信する。健康まつりでは、体脂肪・筋肉量測定・慢性腎臓病のクイズコーナーや講演会などを実施する。 ・各種健(検)診を実施し、特に慢性腎不全(CKD)の早期発見・早期治療を推進していきたい。	・健康まつりにおいて、慢性腎不全(CKD)の啓発動画を掲載し周知啓発を行う。
2	歯科医師会	・歯周病検診については20歳から70歳までの5歳刻みの節目に個別検診を実施。 ・口腔機能管理体制確保事業にて脳卒中患者等の入院患者に歯科口腔に関する専門的助言、病院スタッフの人材育成をしていく。 ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施に関する事業ではオーラルフレイルについても指導していく。	・関係機関等との連携を図り、あらゆる機会を通じ普及啓発していく。
3	薬剤師会	・健康まつりでは薬の正しい使い方、飲み方についてのクイズや相談ができるコーナーを実施する。 ・たばこはゲートウェイドラッグといわれ、おくすり教室と薬物乱用防止教室を実施する。薬局では薬剤師より禁煙ひと声運動を5月-6月実施した。	・庁内連絡会議においてたばこなどに関する課題を共有し、関係機関等との連携を図る。
4	老人クラブ連合会	・5月に第23回シニアグラウンド・ゴルフ大会を開催した。 ・6月に健康ウォークラリー大会を開催した。催して元気をもらっている。仲間づくりが大事。	・適宜、老人クラブ連合会の事務局や関係機関との調整を図る。
5	社会福祉協議会	・150か所のいきいきサロンと子育てサロンに睡眠や健康増進にかかわる講話を実施。 ・総合福祉会館内でeスポーツを実施。高齢者も楽しめ、出かけるきっかけ作りになればよいと思う。	・担当課とも情報共有を図り、多様化する社会のニーズに合わせた様々な活動支援を行う。
6	スポーツ推進委員協議会	・5月春季ファミリー歩こう会。 ・通年ニュースポーツ教室を市民体育館、コミュニティ体育館で実施。 ・スポーツ推進委員として活動に参加してくれる人を募集している。	・担当課とも情報共有を図り、広報掲載を主軸とした案内の実施や、スポーツ推進委員の公募を行う。
7	障がい者団体連絡協議会	・5団体で構成している。 ・視覚障害者福祉協会と連携しSSピンポンを取り組む方向性で考えている。	・担当課とも情報共有を図り、引き続き、関係団体と連携し取り組みを行う。
8	商工会議所	・医師にいつでもメンタル相談をできる体制を作っている。 ・各事業所に健康経営優良法人の取得の促進をしている。	・働く世代(壮年期~中年期層)に向けた健康・食育周知チラシを和泉市商工会だよりに同封。
9	地域活動栄養士会	・令和7年度放課後デイサービスにて食育の出前講座実施。 ・健康まつりでは昨年度同様食育SATシステムを用いて啓発を行う。	・各団体等の希望に応じて調整を図り、普及啓発支援を行う。
10	食生活改善推進協議会	・料理教室は壮年期・親子・男性にむけて年3回の実施。 ・健康まつりでは塩分測定と食品カード釣り、野菜350g展示及び1日どれぐらいのタンパク質を取ったかわかるようなタンパク質カードを取り入れる予定。	・随時、管理栄養士が相談に応じ、活動支援を行う。
11	いずみの農業協同組合	・体験料理教室、学校教育田、さつまいもの収穫体験、野菜レシピコンクールを実施。体験料理教室では、食生活改善推進協議会やいずみの里と連携している。 ・ファミリー野菜レシピコンクールを実施。	・担当課とも情報共有を図り、引き続き、関係団体と連携し取り組みを行う。
12	いずみの里みそグループ	・いずみの農業協同組合と協同し若い世代8人の方と食育グループという団体を立ち上げ、2000名程の小学5,6年生に米粉パン教室を実施。 ・小学校で横山発祥の白味噌や金山寺味噌を作る体験を実施。 ・老人クラブからの依頼で料理教室を実施。	・担当課とも情報共有を図り、引き続き、関係団体と連携し取り組みを行う
13	和泉市私立幼稚園連合 (事務局より代理報告)	・昨年度に引き続き、主に食育の取組を進めます。	・担当課とも情報共有を図り、連携し、園生活における食育の推進を図る。
14	民間保育園連絡協議会 (事務局より代理報告)	・3歳児はピーマンの種取りをしておやつやピザトーストのトッピングに使い、4歳児は野菜の皮むきやお箸の持ち方を練習、5歳児は句の話や毎日の献立をひらがなで作成してクラス展示している。	・担当課とも情報共有を図り、連携し、園生活における食育の推進を図る。
15	公立園長会	・子どもたちが育てた野菜を給食で出し食の大切さを伝えている。 ・だしの取り方の工程を園児の前で見せ、保護者に共有している。 ・献立のメニューを3色栄養列車で分けて掲示。	・担当課とも情報共有を図り、連携し、園生活における食育の推進を図る。
16	小学校長会	・いずみの農業協同組合と体験料理教室やいずみの里みそグループと菊菜パン作りなど団体の力を借りながら食育を進めていければ。 ・給食の時間、食べるだけではなく自分たちで準備して片付けるといったことも大切にしていける。	・担当課とも情報共有を図り、連携し、学校生活における食育の推進を図る。
17	中学校長会 (事務局より代理報告)	・食育だよりの発行、和泉市給食レシピコンクールを実施。 ・中学3年生には今までの給食人気メニューをレシピ集にして配布。	・担当課とも情報共有を図り、連携し、学校生活における食育の推進を図る。
18	和泉保健所	・桃山学院大学の大学祭でアルコール・タバコ・ストレスのことをテーマに出展。 ・和泉保健所管内の飲食店でV.O.S.提供店をパンフレットにしてHPIに記載・配布。	・引き続き、会議の場など様々な機会を通じて情報共有し、連携して推進する。
19	ヘルスアップサポーター	・ウォーキングイベント・クッキングイベントを実施。 ・クッキングイベントで実施したレシピは書面に起こし他事業で配布。 ・健康まつりではココロいずみダンスと握力測定をする予定。	・引き続き、ヘルスアップサポーターの養成、活動支援を行い、地域力の向上を図る。
20	市民委員 (事務局より代理報告)	・市民委員として関係団体が健康・食育推進に向けた活動を計画されていることはよくわかった。市民(特に子育てから働き世代)が、身近に感じることは難しい状況とも思える。学校(子ども)を通じての周知はもちろんだが、講演会やイベントのほかにSNSや動画配信など、その世代が情報を得やすいような周知方法も検討いただきたい。	・庁内担当課、関係団体とも情報共有を図り、SNSや動画配信等、様々な媒体を活用した周知啓発を検討。